The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	意匠学会会報No.82/大会報告/総会報告/一般会務報告/寄贈図書紹介
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2018, 71, p. 62-69
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67734
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

意匠学会 2018.1.15

会報

NO.82

http://www.japansocietyofdesign.com/

大会報告

第59回大会は，平成29年8月9日（水）と10日（木）の2日間，秋田市にぎわい交流館において開催された。詳細は以下のとおり。

会場：秋田市にぎわい交流館 3階多目的ホール
会期：平成29年8月9日（水）～10日（木）
大会参加費：2,500円(資料不要の学生無料)
懇親会：キャッスルホテル

【プログラム】

第1日(8月9日)　9:15～9:45　受付
9:45～10:00 開会のことば　会長 塚田 章
〔第1セッション〕
司会：佐藤 敬二（京都精華大学）
10:00～10:30 研究発表1
「迎田秋悦と工芸研究―宮崎タンスにおける研究会をめぐって―」
下出 茉莉（京都工芸繊維大学）
10:30～11:00 研究発表2
「近畿の薩摩金襴手制作に関する一考察―神戸薩摩を中心に―」
松原 史（清水三年坂美術館）
－休憩　10分－
〔第2セッション〕
司会：塚田 章（京都市立芸術大学）
11:10～11:40 研究発表3
「染織技術の戦略的継承法―インド、グジャラート州の女神儀礼用染色布を事例に」
上羽 陽子（国立民族学博物館）
11:40～12:10 研究発表4
「新商品開発における開発目標の質と設定に至るプロセスとの関係」
畔柳 加奈子（京都工芸繊維大学）
－昼食・自由見学　140分－
（自由見学：秋田県立美術館・千秋美術館等）
〔平成29年度 総会および
平成28年度 学会賞授与式〕14:30～15:30
〔シンポジウム〕15:30～17:30
「秋田からのデザイン研究」司会：天貝 義教
発表者：遠藤 敏明（秋田大学）
山内 貴博（秋田公立美術大学）
落合 里麻（秋田公立美術大学）
天貝 義教（秋田公立美術大学）
〔懇親会〕18:00～20:00
キャッスルホテル 南館3階　弥生の間

第2日(8月10日)　9:00～9:30　受付
〔第3セッション〕
司会：青木 美保子（京都女子大学）
9:30～10:00 研究発表5
「1964年東京オリンピック選手団公式服装の服飾史的位置をめぐる研究」
安城 寿子（お茶ノ水女子大学）
10:00～10:30 研究発表6
「低座椅子と日本人の暮らし　椅子の導入の初源的様相からの再考」
石川 義宗（東洋美術学校）
10:30～11:00 研究発表7
「里見宗次《JAPAN》ポスターの制作背景に関する考察」
熊倉 一紗（京都造形芸術大学）
－休憩　10分－
〔第4セッション〕
司会：伊原 久裕（九州大学）
11:10～11:40 研究発表8
「中平康映画再考」
安部 孝典（関西学院大学）
11:40～12:10 研究発表9
「レオ・フェンダーがデザインしたエレクトリック・ベースとその影響　その2」
益岡 了（岡山県立大学）

－昼食　60分－
〔第5セッション〕
司会：吉村 典子（宮城学院女子大学）
13:10～13:40　研究発表10
「エベネーザー・クックのドローイング教育」
要 真理子（跡見学園女子大学）
13:40～14:10 研究発表11
“Nikolaus Pevsner: Talking Industrial Design to the Workers’ Educational Association”
KONDO Ariyuki (Ferris University)
14:10～14:40 研究発表12
“A Consideration of “Japanning” (Imitation Lacquer) in England and in Other European Countries”
ITANI Yoshie (Tokyo University of the Arts)
14:40～15:00 閉会のことば　副会長 藤田 治彦

総会報告

第59回総会は，平成29年8月9日（水），秋田市にぎわい交流館において開催された。
開催にあたって，塚田章会長より挨拶があった。
議事進行に先立ち，議長に伊東 徹夫会員が選出された。議長より，総会員数315名中，出席者が44名，委任状が79通，計123名であり，総会が成立する旨の報告があった。

議事１．2016（平成28）年度　事業報告，
収支決算および会計監査報告
〔2016年度事業報告〕
事務局担当 谷本尚子委員より，2016年度事業について，以下のように報告があった。
1）第58 回大会
2016年7 月30日（土）・31日（日）
於　京都精華大学
2）研究例会
第226 回　2016 年 5 月14 日（土）
於　京都造形芸術大学
第227 回　2016 年 9 月10日（土）
於　大阪工業大学
第228 回　2016 年11 月19日（土）
於　兵庫県立大学
第229 回　2017 年 2 月25日（土）
於　フェリス女学院大学
3）刊行物：『デザイン理論』68・69号，
会報79・86号を発行
4）意匠学会各賞の授与
5）役員会の開催（5 回）
6）国際交流委員会の推進
7）他学会等との交流（藝術学関連学会連合，日本デザイン学会，等）
8）役員選出選挙の実施
〔2016年度収支決算報告〕
事務局会計担当谷本尚子会員より，平成28年度収支決算が報告された（表1参照）。
〔2016年度会計監査報告〕
会計監査　籔亨委員により，適正に処理されているという報告があった。
・議事１について意義なく，了承された。

議事２．2017（平成29）年度　事業経過報告
および予算（当初及び補正）
〔2017年度事業報告〕
事務局担当 谷本尚子会員より，平成29年度の事業経過について，以下のように報告があった。
1）大会開催（総会も含む）
第59 回大会　2017年8 月9日（水）・10日（木）
於：秋田市にぎわい交流館
2）研究例会
第230 回　2017年 5 月13 日（土）
於　成安造形大学
第231 回　2017年 9 月30日（土）
於　京都工芸繊維大学（デザイン関連学会連携シンポジウムとの同時開催）
第232回　2017年11月18日（土）
於　大阪工業大学
第233 回　2018 年 2 月 17 日（土）
於 京都女子大学
3）第２回アジア・デザイン史論国際会議への協力（9月1～2日）　於　津田塾大学
4）刊行物：『デザイン理論』70・71 号，会報81・82 号を発行
5）会員の募集
6）広報活動の推進
7）意匠学会賞 各賞の授与

8)役員会の開催（6 回）
9)分科会（デザイン史分科会等）
10)他学会等との交流（藝術学関連学会連合，日本デザイン学会，等）
11)会員名簿の作成
〔2017 年度当初および補正予算案〕
事務局会計担当 谷本尚子委員より，2017 年度当初予算及び補正予算案が説明された（表 2 参照）。
・議事２について意義なく，了承された。

議事３．2018（平成 30）年度事業計画案及び予算案
〔2018 年度事業計画案〕
事務局担当 谷本尚子会員より，2018 年度事業計画案について，以下のように説明があった。
1)第 60 回大会の開催（総会を含む）1 回
2)研究例会（見学会を含む）4 回
3)分科会（デザイン史分科会等）2 回
4)刊行物の刊行『デザイン理論』72・73 号，会 報 83・84 号
5)会員の募集
6)広報活動の推進
7)意匠学会賞 各賞の授与
8)国際交流委員会の活動
9)役員会の開催（5 回）
10)他学会等との交流（藝術学関連学会連合、日本デザイン学会、等）
〔2018 年度予算案〕
事務局会計担当 谷本尚子会員より，2018 年度予算案の説明があった（表 3 参照）。
・議事３について意義なく，了承された。

議事４．役員改選及び新体制について
現役員一覧が別紙で配布され，塚田章会長からの説明があり，意義なく了承された。
以下、2017〜2019 年度 新体制の役員および運営組織（＊は 10 人委員）

会長	塚田 章 ＊
副会長	藤田 治彦 ＊
	今井 美樹 ＊
編集委員会	三木 順子（委員長）＊
	高安 啓介（副委員長）
	伊集院 敬行
	島先 京一 ＊
	竹内 幸絵
	多田羅 景太
	羽藤 広輔
	山口 良臣
	吉村 典子
	米屋 優
学会賞選考委員会	面矢 慎介（委員長）＊
	大森 正夫（副委員長）
	天貝 義教
	伊原 久裕
	川島 洋一
	佐藤 敬二
	末包 伸吾
	並木 誠士 ＊
	益岡 了
	吉田 雅子 ＊
国際交流員会	橋本 啓子（委員長）
	近藤 存志
	吉村 典子
広報委員会	青木 美保子（委員長）
	前崎 信也
	吉羽 一之
本部事務局	谷本 尚子 ＊
	滝口 洋子
幹　事	加茂 瑞穂
	佐藤 紗良
会計監査	藪 亨
	山形 政昭

議事５．藝術学関連学会連合報告・デザイン関連学会シンポジウム報告
藤田治彦副会長からの説明及び報告があり，意義なく承認された。

・閉会にあたり，塚田章会長より挨拶があり，以上をもって，総会を閉会した。
なお，引き続き，平成 28 年度 意匠学会各賞の授与式が行われた。平成 28 年度学会賞選考委員長塚田章会員より，学会賞の受賞理由について説明があり，以下の会員に各賞が授与された。
「意匠学会賞」受賞者：藪 亨
「意匠学会論文賞」受賞者：平芳 裕子
「意匠学会作品賞」受賞者：多田羅 景太

表1. 2016年度　収支決算書（2017年8月9日承認）

自2016年4月1日　至2017年3月31日

Ⅰ.収入の部	予算額	決定額
前年度よりの繰越金	9,314,654	9,314,654
会員会費	2,656,000	2,520,000
	(8,000×332)	(8,000×315)
雑収入	0	0
利息	0	6
合計	11,970,654	11,834,660

Ⅱ.支出の部	予算額	決定額
『デザイン理論』編集費	80,000	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	774,144
大会補助費	200,000	191,535
例会費	60,000	43,648
分科会費	10,000	0
ホームページ作成・維持費	300,000	187,574
学会賞等奨励金	150,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
事務費	15,000	17,867
旅費	120,000	109,800
予備費	50,000	33,520
業務委託手数料(学会支援センター)	330,000	286,809
業務委託立替金(学会支援センター)	250,000	142,251
事務局委託料（本部事務局)	60,000	60,000
会計委託料(本部事務局)	120,000	120,000
国際交流委員会　活動費	100,000	9,520
編集委員会　活動費	30,000	0
学会賞選考委員会　活動費	30,000	0
広報委員会　活動費	30,000	0
選挙関連業務費	50,000	56,320
次期繰越金	8,485,080	9,556,672
合計	11,970,654	11,834,660

参考資料（大学生協学会支援センターより）

会員状況　　2017年3月31日現在

種別	2016/4/1	入会	復会	退会	2017/3/31
顧問	1				1
正会員	332	13	0	-30	315
法人会員	0	0	0	0	0
合計	333	13	0	-30	316

会費納入状況　　2016年3月31日現在

種別	未納なし	未納1年	未納2年	未納3年	合計
正会員	1				1
顧問・法人	285	22	8	0	315
合計	286	22	8	0	316
累計（比率)	286(90.5%)	308(97.5%)	316(100%)		

表2.　2017年度当初予算及び補正予算案（2017年8月9日承認）

自2017年4月1日　至2018年3月31日

Ⅰ．収入の部	予算額(当初)	予算額(補正)
前年度よりの繰越金	8,423,080	9,314,654
会員会費	2,624,000	2,520,000
	(8,000×328)	(8,000×315)
雑収入	0	0
利息	0	0
合計	11,047,080	11,834,654

Ⅱ．支出の部	予算額(当初)	予算額(補正)
『デザイン理論』編集費	80,000	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	1,000,000
大会補助費	200,000	290,000
例会費	60,000	60,000
分科会費	10,000	10,000
ホームページ作成・維持費	150,000	150,000
学会賞等奨励金	150,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	70,000
事務費	15,000	15,000
旅費	120,000	120,000
予備費	50,000	50,000
業務委託手数料	330,000	453,600
業務委託立替金	250,000	300,000
本部事務局委託料	60,000	120,000
本部事務局会計委託料	120,000	60,000
本部事務局　幹事委託料	0	100,000
編集委員会　幹事委託料	0	100,000
国際交流委員会　活動費	200,000	100,000
編集委員会　活動費	30,000	30,000
学会賞選考委員会　活動費	30,000	30,000
広報委員会　活動費	30,000	30,000
名簿印刷費	250,000	250,000
次期繰越金	7,897,080	8,391,054
合計	11,047,080	11,834,654

表3．2018年度予算案　(2017年8月9日承認)

自2018年4月1日　至2019年3月31日

Ⅰ．収入の部	予算額
前年度よりの繰越金	8,271,054
会員会費	2,520,000
	(8,000×315)
雑収入	0
利息	0
合計	10,911,054

Ⅱ．支出の部	予算額
『デザイン理論』編集費	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000
大会補助費	200,000
例会費	60,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	150,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0
事務費	15,000
旅費	120,000
予備費	50,000
業務委託手数料	453,600
業務委託立替金	300,000
本部事務局委託料	120,000
本部事務局会計委託料	60,000
本部事務局　幹事委託料	100,000
編集委員会　幹事委託料	100,000
国際交流委員会　活動費	100,000
学会賞選考委員会　活動費	30,000
広報委員会　活動費	30,000
次期繰越金	7,737,454
合計	10,911,054

一般会務報告

平成29年度　第2回役員会　議事録

日時：平成29年5月13日（土）
11時30分～14時00分
会場：成安造形大学

出席者：青木美保子，天貝義教，今井美樹，大森正夫，面矢慎介，加茂瑞穂，近藤存志，島先京一，滝口洋子，塚田章，並木誠士，橋本啓子，藤田治彦，前崎信也，三木順子，吉田雅子，吉羽一之，谷本尚子

〔審議事項〕

議題１．委嘱事務局（毎日学術フォーラム）契約書について

第１回役員会での再討議の決定を受けて，再度回覧の上，承認された。

議題２．第59回大会について

発表予定者（申込順）を，以下のように決定した。

①近藤 存志 フェリス女学院大学文学部「ペヴスナー、労働者教育協会に向けて産業デザインを語る」
②井谷 善惠 東京藝術大学グローバルサポートセンター特任教授「イギリス製ジャパニング（japaning　倣製漆器）に関する考察―他のヨーロッパ製ジャパニングとの比較において」
③畔柳 加奈子 京都工芸繊維大学「新商品開発における開発目標の質と設定に至るプロセスとの関係」
④石川 義宗 東洋美術学校「低座椅子と日本人の暮らし　椅子の導入の初源的様相からの再考」
⑤益岡 了 岡山県立大学「レオ・フェンダーがデザインしたエレクトリック・ベースとその影響　その２」
⑥下出 茉莉 京都工芸繊維大学大学院「迎田秋悦と工芸研究―宮崎タンスにおける研究会をめぐって―」
⑦安部 孝典 関西学院大学「中平康映画再考」
⑧熊倉 一紗 京都造形芸術大学非常勤講師「里見宗次《JAPAN》ポスターの制作背景に関する考察」
⑨松原 史 清水三年坂美術館特別研究員「近畿の薩摩金襴手制作に関する一考察―神戸薩摩を中心に―」
⑩安城 寿子 お茶の水女子大学非常勤講師「1964年東京オリンピック選手団公式服装の服飾史的位置をめぐる研究」
⑪要 真理子 跡見学園女子大学「エベネーザー・

クックのドローイング教育」
⑫上羽 陽子 国立民族学博物館 人類文明誌研究部「染織技術の戦略的継承法 - インド、グジャラート州の女神儀礼用染色布を事例に」

入会日が浅い4人を除き、12人とした。ただし、英語発表のエントリーが無いので，発表決定者の中から英語発表が可能か打診することとなった。

議題３．2016年度会計報告・2017年度予算案及び補正予算案について
審議の上，承認された。

議題４．2017年度11月例会について
以下のように決定した。
会場候補：大阪工業大学
日時：11月18日（土）または25日（土）
13時から見学会
14時から研究発表会
16時から懇談会
発表候補者
・岡 達也 京都工芸繊維大学美術工芸資料館「丸紅商店染織美術研究会に関する研究 –近代京都の図案教育に関する追跡調査Ⅰ」
・佐々木 一泰 滋賀県立大学「オランダの民家博物館の移築・復元住宅における漁家・農家住宅の構法について –エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館、オランダ屋外博物館を資料として–」

議題５．2017年度2月例会について
以下のように決定した。
会場：京都女子大学
日時：2月17日（土）

議題６．前回議事録の承認
一部修正の上，承認された。

議題７． 入退会希望者の承認
入会：片桐真佐子，倉田麻里絵，西影めぐみ
退会：なし

議題８．その他
1)デザイン関連学会連携シンポジウムについて
・藤田副会長から，前回の経緯が説明された。
・閉会挨拶：塚田会長 司会進行：基調講演者とパネリスト紹介については，三木会員と高安会員で相談することとなった。
・シンポジウムの成果の公開方法については，昨年は，デザイン学会がシンポジウムの内容を学会誌に掲載した。今回の報告は， HPへ掲載することで合意した。

〔報告事項〕
１．各種委員会報告
1)編集委員会
加茂幹事が紹介された。
英語論文の投稿について，規定作り方等々を国際交流委員会との協議の上，準備を始めることが報告された。
編集委員会のメンバーとなる羽藤広輔会員が役員に推薦された。
吉村典子会員と，もう一人，編集委員会に新たに加えられることが提案された。
70号の刊行予定日が報告された。
2)選挙管理委員会
選挙の結果が，吉田雅子選挙管理委員長から報告された。結果は以下の通り。
投票結果 355票（5名連記×71枚＝355票）+11票（4名以下連記 4枚11票）＝計366票
1位 藤田治彦氏35票・2位 今井美樹氏18票・3位 佐藤敬二氏17票・4位 並木誠士氏16票・5位 塚田章氏15票・6位 三木順子氏15票・7位 島先京一氏12票：8位 吉田雅子氏11票・9位 谷本尚子氏 8票・10位 藪亨氏7票（辞退）・11位 面矢慎介氏7票・12位 伊集院敬行氏7票
3)広報委員会から
ホームページの更新が報告された。

２．その他
1)秋田大会について参加費等の説明があった。
会費 2，500円 懇親会費 4，500円
2)日本学術会議協力会議の協力金の要請が届いたことが報告され，今後検討課題とすることとなった。

平成29年度　第3回役員会　議事録

日時：平成29年8月9日（水）
12時30分～13時30分
場所：（秋田）にぎわい交流館
出席者：青木美保子，天貝義教，伊集院敬行，伊原久裕，今井美樹，近藤存志，島先京一，佐藤敬二，佐藤沙良，高安啓介，竹内幸絵，滝口洋子，多田羅景太，塚田章，並木誠士，橋本啓子，藤田治彦，益岡了，三木順子，吉村典子，吉羽一之，谷本尚子

〔審議事項〕

議題１．2017年度11月例会について
日時・会場・発表者
11月18日（土）・大阪工業大学
・岡 達也　京都工芸繊維大学美術工芸資料館
13：00-14：00　14：20「丸紅商店染織美術研究会に関する研究　–近代京都の図案教育に関する追跡調査Ⅰ」
・佐々木 一泰　滋賀県立大学　14：30-15：30
15：50「オランダの民家博物館の移築・復元住宅における漁家・農家住宅の構法について　-エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館、オランダ屋外博物館を資料として-」
・神野 由紀　関東学院大学　16：00-17：00　17：20「大量生産の時代における手作りのデザインとジェンダー」

議題２．2017年度2月例会について
日時・会場・発表候補者：2月17日（土）・京都女子大学
片桐 真佐子　奈良女子大学大学院「大阪万博アメリカ館とQUILT－日本におけるキルトの受容」
佐々木 千嘉　金沢美術工芸大学大学院「近現代讃岐漆芸における意匠表現の革新－文化財保護法及び日本伝統工芸展の影響－」

議題３．2017年度5月例会について
　日時：未定・会場：大阪大学

議題４．　学会賞規定改正について
　学会賞委員会からの提案を受けて，議論を重ねて行くことになった。

議題５．藝術学関連学会＜平成30年度シンポジウムのテーマ案提出＞と＜次期会長選挙の候補者推薦＞について
　テーマ：後日，メールでテーマ募集。9月20日締め切り（藝関連9月29日締め切り）。
　藤田治彦副会長を次期会長選挙の候補者として推薦することが決定した。

議題６．前回議事録の承認
　一部修正の上，承認された。

議題７．名簿作成に関する会員からの質問について
　審議の上，名簿作成の調査方法，様式等の見直しを行うことになった。

議題8.その他
　総会資料の確認をおこなった。

〔報告事項〕

1.各種委員会報告
1)編集委員会　70号は，近く刷りあがる。71号は投稿論文２本を受け付けて編集中。
2)広報委員会　デザイン関連学会シンポジウムのHPを高安会員が試作中。
3)国際交流委員会　英語の投稿論文の投稿書式について検討し，執筆要項への加筆が提示された。査読についての方法について，詳細な検討を行っている。次回の役員会で詳細な内容を議題として提出することが報告された。
2.デザイン関連学会シンポジウムについて
　インフォメーションを総会資料に加えた。
3.科学研究費助成事業の審査システム改革について
　藤田副会長から科学研究費助成事業の審査システム改革について，説明があった。
4.その他
1)『プラスチックの逆襲』に意匠学会の名前が，関連学会として掲載された。
2)日本学術会議協力会議の協力金の要請について，意匠学会としては応じないことが決定された。

平成29年度　第4回役員会　議事録

日時：平成29年9月30日（土）
12時00分〜13時00分
場所：京都工芸繊維大学 東1号館5階501演習室
出席者：青木美保子、伊原久裕、今井美樹、加茂瑞穂、川島洋一、島先京一、竹内幸絵、塚田章、並木誠士、橋本啓子、前崎信也、益岡了、三木順子、吉羽一之、谷本尚子

〔審議事項〕

議題1．第59回大会会計報告について
　異議なく承認された。

議題2．2018年度5月例会について
　会場：大阪大学　日時：未定
　発表申込者：倉田麻里絵　「ミシェル・ルグランの映画音楽　その機能についての一考察」
　もう1名を募集中。

議題3．第60回大会開催について
　開催校：同志社大学 今出川キャンパス
　8月8日（水），9日（木）
　実行委員会の設立（今井美樹副会長が中心に行う。）
　作品発表のギャラリーは確保できるとのこと。

議題4．　名簿の確認について
　チェック用資料に不備があったため、再度内容を確認することとなった。

議題5．第59回総会議事録の承認
　承認された。

議題6．国際会議ホームページ更新料について
　第二回会議のためのホームページの更新が五回行われた。
「アジア・デザイン史論国際会議 ACDHT」にて一回分を支払う。残りの4回分を折半して欲しいとの申し出があったが、難しいと再度検討することが提案された。
2019年度の第3回は関西が担当となり、九州産業大学で行うことが提案された。

議題7．前回議事録の承認
　承認された。

議題8．その他
1. 日本学術会議事務局より「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）ご参加のお願い」の問い合わせについて
　学会としての参加は見送ることとなった。
2. 国際交流委員会より　英語論文の投稿について
付記の部分で「学術論文は、口頭発表を経てから発表と同じ言語で論文投稿されることを原則とする。」の一文を付け足すことが確認された。

〔報告事項〕

1．各種委員会報告
1)編集委員会より71号の編集状況が報告された。寄贈本が3冊あり書評者を検討中と報告があった。
2)広報委員会より、発表会場の予告を早めに掲載することが報告された。
2．その他：ウィリアム・モリス研究会（デザイン史分科会/理論分科会）について、12月16日(土)同志社女子大学で開催されることが報告された。

寄贈図書紹介

　以下、3冊が，著者より寄贈されました。
◎並木誠士著『日本絵画の転換点　酒飯論絵巻―「絵巻」の時代から「風俗画」時代へ』昭和堂　2017年8月4日
◎針貝綾著『ユーゲントシュティルからドイツ工作連盟へ - 世紀転換期ドイツの美術工芸工房と教育』九州大学出版会 2017年8月31日
◎『a+a 美学研究』第11号，大阪大学大学院文学研究科 美学研究室 編集，2017年3月31日

会報担当連絡先
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
京都女子大学家政学部生活造形学科 B415
青木美保子　宛
Tel：075-531-7169（研究室直通）
E-mail：aokimih@kyoto-wu.ac.jp